

# 情報連絡員報告総括表(平成31年1月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		3	1		3	1	1	3		1	2	1		1	3		3	1	1	3			4			1	3						
	織 維 工 業			3		3		1	2			3			2	1		2	1		2	1		3			1	2						
	木 材 ・ 木 製 品		1				1		1			1			1			1			1			1			1							
	紙 ・ 紙 加 工 品		1	1		2		1	1		1	1				2		2			2			2			1	1						
	印 刷		1			1		1				1				1		1			1			1				1						
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1	2			3			3		3				3			3			3			3			3							
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1		1		1					1		1				1		1				1						
	一 般 機 器		2	1	1	2			2	1		2	1		1	2		2	1		2	1		2	1	1		2						
	電 気 機 器	1				1			1			1		1			1			1				1		1								
輸 送 機 器		1			1			1			1			1			1			1		1				1								
そ の 他																																		
小 計		2	11	7	1	16	3	4	15	1	1	16	3	1	9	10	1	16	3	2	15	3	1	18	1	2	8	10						
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		2			2			2			1	1		2		X				2			1	1						
	小 売 業	1	1	4	1	4	1	2	1	3		4	2		3	3		3	3								5	1	1	2	3			
	商 店 街		1				1		1			1				1		1									1			1				
	サ ー ビ ス 業		4	1	X				5			5			4	1		4	1								5			5				
	建 設 業	1	2	1					1	3		1	3		1	3		1	3					1	3					4		1	3	
	運 輸 業		1									1			1			1						1						1			1	
	そ の 他		1									1			1			1						1						1			1	
小 計		2	11	7	1	6	2	3	14	3	1	17	2	1	13	6	1	15	4				1	19	1	2	14	4						
合 計		4	22	14	2	22	5	7	29	4	2	33	5	2	22	16	2	31	7	2	15	3	1	37	2	4	22	14						

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年1月～平成31年1月)

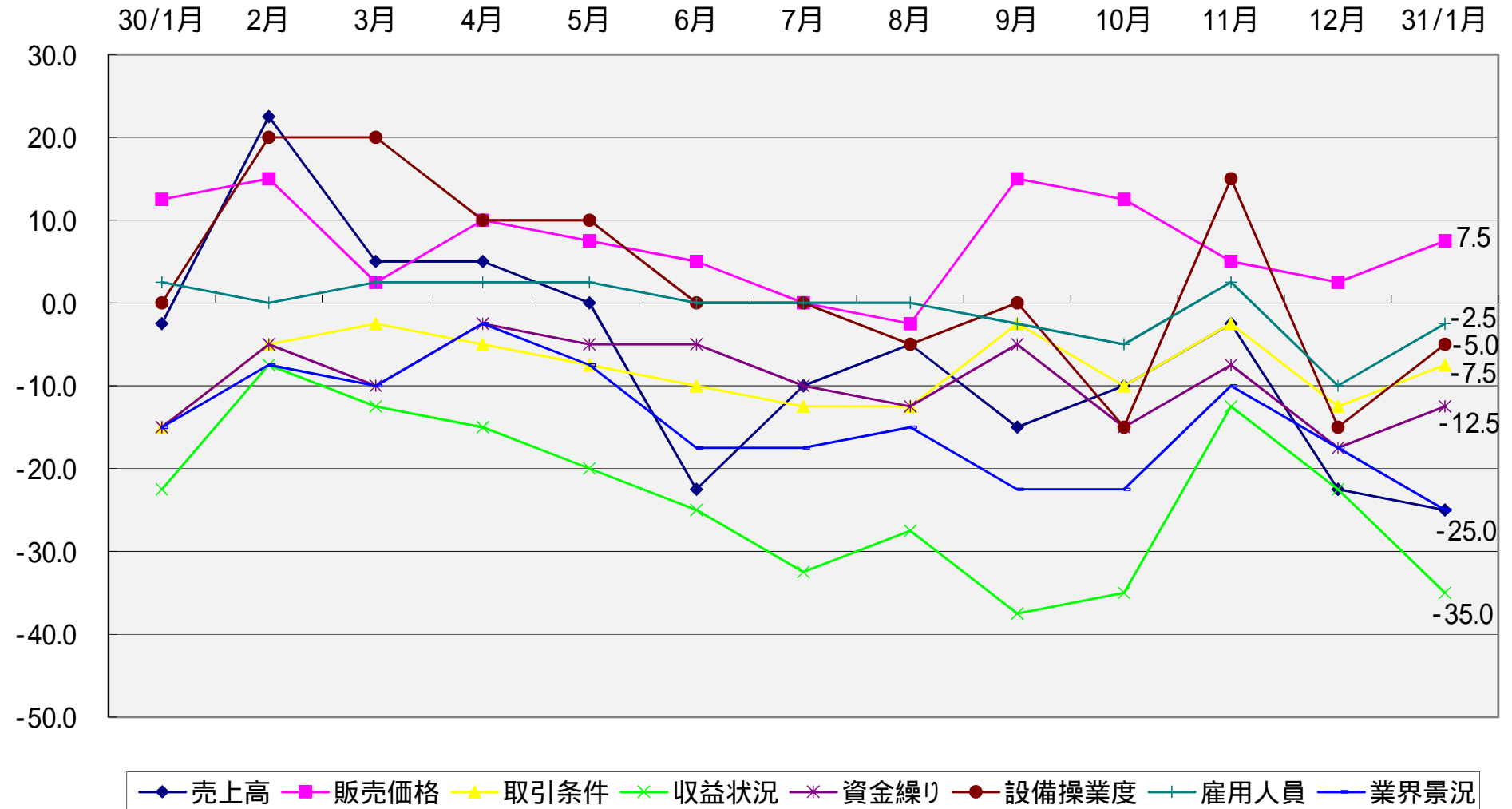
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	増減
売上高	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-2.5
販売価格	12.5	15.0	2.5	10.0	7.5	5.0	0.0	-2.5	15.0	12.5	5.0	2.5	7.5	5.0
取引条件	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	5.0
収益状況	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-12.5
資金繰り	-15.0	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-5.0	-15.0	-7.5	-17.5	-12.5	5.0
設備操業度	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	-15.0	15.0	-15.0	-5.0	10.0
雇用人員	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	2.5	-10.0	-2.5	7.5
業界景況	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成31年1月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。2月20日に名古屋市において全国漬物協同組合主催の評議委員会が開催され、漬物業界の今後について検討を予定している。更に漬物製造管理者の2級以上の有資格者の育成が急務であり、例年2回の検定試験に加えて、今年3月10日も検定試験を実施することとなった。また、4月27日に東京ビッグサイトにおいて、漬物グランプリ2019が開催される予定。
		醤油味噌	昨年の台風21号、24号による被害の後遺症が未だに残って続いており、営業活動に支障をきたしている。購入取扱商品の値上げがあり、対応に苦慮している。市場価格競争の激化、販売価格に転嫁できない。市場は落ち込んでおり、諸対策に苦戦している。
		豆腐	資材、燃料が高く、また県外から安値の商品が入ってきており、現状は厳しい状況である。
		製麺	新春にあたり、新たな気持ちで業界の現状を把握し、地域の方々に麺文化を広げていきたい。特に伊勢うどんは年々PR活動を中心に取り組んでいく。また小麦粉等、仕入価格が値上がりし、商品価格の値上げをしていく大きな取組みを行っていかねばならない。消費税が値上がりし、消費の低迷がどこまでくい止められるかが課題である。
	繊維工業	衣料縫製	加工賃等、未だ変わらず大変厳しい現状である。中小企業の業況をもっと把握して欲しい。
		テントシート	昨年の台風被害復旧工事が残っている事業所もある。反物のメーカーの生産が受注においつかず、一部に欠品がある。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	株価の低迷により需要の落ち込みが心配されたが、冬用食品を中心に昨年と同じぐらいの量が出ている。材料となる段ボールシートの値上げはほぼ受けないとはいえない状況になった。同時進行で段ボールケースの値上げをお客様にお願いし浸透を図っている。
		古紙	1月期の古紙仕入量は、前年比で段ボール：100±3%、新聞・チラシ：90±4%、雑誌・雑紙・その他合わせて：94±6%の中での推移である。12月に引き続き宅配や各店に流通する段ボール箱の数量が増えているようで、多数の組合員が段ボール古紙の入荷が良いように思う。新聞・チラシは少子化、高齢化、人口減少、IT情報化により益々減少している。雑誌・雑紙等も新聞チラシと同じく雑誌の発行部数の減少が大きいが、会社や家の片づけなどの古紙の発生があるようで、比較的集荷が多くなっている。中国向けの古紙の輸出制限により、古紙の輸出価格が大きく値下がりし、古紙の輸出を多くしていた業者は在庫を積み増ししている様である。段ボール古紙・雑誌・雑紙古紙の発生が良い原因は全般的に暖冬で活動が増えた分、古紙の発生も増えたとか、古紙価格が下落し、在庫を減らすため。古紙の持ち去り行為も減り、従来の集荷ルートに帰ってきたとも考えられる。古紙集荷のための運転手は不足している。
	印刷	印刷	上質紙、コート紙など多くの紙が、10%~20%値上げになった。値上げ後も官公庁等の入札は、昨年以上の安値落札も多く、非常に深刻な業況。これから年度末の繁忙期、さらに選挙等の需要により業界全体の価格が安定することを期待する。
	窯業・土石製品	伊賀焼	1月は、伊賀焼伝統産業会館では売上・入館者数で昨年を上回ったが、陶芸体験者数は、昨年を下回った。また、伊賀・信楽古陶館では、入館者数では昨年を少し上回ったが、売上は少し減少した。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は12月と同様であった。自動車部品関連は横ばいが続き、建築関連部品もほぼ同様で、その他の製品に関しては増えるもの、減少するものと分かれたが、ほぼ同様であった。ただし、前年同期と比べると全体的に減少傾向にある。半導体関連は低迷したままで、春先より回復するという事は難しく、夏以降にずれ込むという傾向が大きくなった。それがいつになるかは不明である。
	一般機器	四日市	組合員全体で共通していえることは、仕事量はますます確保できているが、利益がでてこない。燃料代や原材料費の高止まりが要因となっている。人材不足も相変わらずで足を引っ張っている。
		伊勢	1月は正月休みもあり、元々稼働日数は少ないが、それ以上に売上高の減少が大きくなった。大手受注先が米中貿易摩擦の影響を懸念し、先行きの見通しを引き下げ、在庫調整したことによるものと考えている。しばらくはこの状態が続くものと思われる。
	電気機器	鳥羽	期末に入り、受発注が活発になり、残業態勢に入っている組合員企業が多い。
輸送機器	鈴鹿	大きな変動も無く、ほぼ前年並みで推移した。近県の同業者からは、中国向けの一部の製品が4分の1に減った、アメリカ向けが半分になったなど、景気の悪い声があがっており、来期に向けてもやや悲観的な見通しが多かった。	

報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成31年1月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	青果	野菜前半：全体的に入荷が多い一方、消費が低迷しているため、価格は安値が続いている。ミニトマト・トマトも例年より安く、キャベツ・ハクサイ・大根も安くなっている。野菜後半：全体的に順調な入荷が続いているが、消費が鈍く、価格は例年より2~3割安い。大根は価格が低迷しており、例年の半値。ニンジン・ジャガイモ・玉葱は安定して入荷している。果物前半：年末需要が落ち着いたことで、みかんの価格が下がっている。イチゴも量が増えてきて安値。イヨカン・ハッサク・ポンカンなど柑橘類の種類も豊富になってきた。果物後半：ポンカンが酸が抜け、味もよくなってきた。イチゴは月末にかけ、量も多くなり、価格も安定。美味しいハウスデコボンも入荷した。リンゴ類は安定した価格。
	自転車	今年元旦から5~6日程正月休みにした店も多くなった。10日以降、中学新入学を対象とした展示予約会を開催したショップによると、全商品金額が3,000円程値上げとなったにもかかわらず、昨年より10台以上増とのうれしい声も聞こえてきた。現在自転車工業メーカー2社のみとなったこの業界、在庫を多く抱えたくないメーカーの思惑もあり、かなり車種の絞り込みをしてきている。このことからユーザーの早期注文にもつながった感がある。今後2月から3月にかけて品薄となるが、駆け込み需要はかなり多くなりそうである。
	石油	1月の燃料油販売数量は前年対比7%前後の減販状況であった。特に燃料油における灯油については、幾分寒さの影響により前年数量に近い状況であったが、販売数量については燃料全体では厳しい状況であった。原油価格についてはOPECと非OPECの協調減産の影響を受け、原油価格が上昇してきており、今後各元売の製品値上げにおいて燃料販売の影響と収益面においては、厳しい状況が続くと思われる。
	スポーツ	寒さが強く、外でのクラブ活動が行いにくい状況である。スキー、スノーボードのビジネスも徐々に組合員の手から離れている。1月はいずれにしても動きの悪い月であった。
商店街	熊野市	第7回目として開催された熊野のサンマをPRするイベント「熊野きのもとさんま祭り」は熊野周辺ほか県外などからの約6,000名の集客があり、盛り上がりを見せた。また会場近隣の熊野古道を周遊した後、会場に訪れるツアーも組み込まれ、名古屋周辺のツアー客150名がさんまの丸干しを堪能された。
サービス業	旅館	元旦の素晴らしい初日の出にはじまり、暖冬で穏やかな日が続き、正月は例年通りの集客であったが、次週の3連休は正月休みに近いため、盛り上がりには欠けていた。1月全体では昨年並みのようであった。元号が変わるため、平成のおかげ参りで伊勢神宮は連日参拝客でにぎわっているが、日帰り・県外での宿泊が多いため、地元で宿泊してもらえよう努力することが必要。
	測量	12月とほとんど変化はなかった。官庁の組合認識が低いので、どうにかしたい。
	警備	業者の年始休暇で稼働日数が減少した分、売上も減少した。
建設業	内装工事業	年明け1月も昨年後半の流れを受け、増減を繰り返す中で増の方向になり、対前年比でかなりの増加となった。今後も年度末までこのような動きで推移すると思われる。
	水道工事業 (四日市)	1月は特に大きな変化は見られなかった。ただこれから年度末の3月にかけては、仕事量の増加が見込まれる。
運輸業	トラック	ドライバーの労働時間の改善、及び人材確保が課題である。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	HACCP等、毎月取り組んでいるが、伊勢うどん、L L めんの製造業者にはいち早く取り組んでいきたいと思う。
一般機器	四日市市	国会の議論は与野党での対立から「アラサガシ」ばかり。経済問題はどこで議論されているのか疑問である。
一般機器	伊勢市	政府の景況感や日銀短観とやや現状認識のギャップを感じる。中小の現場では足元がかなり悪くなってきているので、実態をつかみ、対策を講じて欲しい。
サービス業	旅館	HACCP(食品衛生の国際基準)認証が目前に来ている。旅館ホテル・飲食業は比較的緩い「B基準」であるが、詳細については知らされてなく、準備にかかることができない。早く公的な機関による説明会を開いてほしい。
サービス業	測量	1人、2人企業の組合員が多く、どの組合員も組合への期待が低すぎる。